

寿都町まち・ひと・しごと創生
総合戦略

平成28年2月

寿都町

目 次

はじめに

1. 策定にあたっての基本的視点・・・・・・・・・・1
2. 基本的な考え方・・・・・・・・・・2
 - (1) 計画の位置づけ
 - (2) 計画期間
 - (3) 目標設定と進捗管理
 - (4) まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係
 - (5) 関連政策分野における現状・課題・可能性と方向性
3. 基本目標と基本的な方向性・・・・・・・・・・4
 - (1) 基本目標
 - (2) 基本的な方向性
4. 具体的な施策と重要業績評価指標・・・・・・・・7

1. 策定にあたっての基本的視点

寿都町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、寿都町人口ビジョンを踏まえ、次の4点を基本的な視点として策定します。

①雇用創出と産業振興

雇用の減少は、人口減少とも密接に関係しており、産業の振興は非常に重要です。産業振興による雇用の創出により、寿都町で働きたい人の転出を抑制し、Uターン・Iターンといった転入を推進していきます。

②交流人口の増加と移住定住の促進

将来的な移住定住の推進においては、雇用の創出に加え、地域に訪れるきっかけや居住体験、また、住居の確保が非常に重要となります。交流人口の増加により、産業のさらなる振興や雇用の創出を行いながら、移住定住のきっかけづくりを行います。また、定住者用の住宅など居住環境の整備を行うことで、将来的な移住定住を促進していくことが重要です。

③出産・子育てしやすい環境づくり

寿都町は出産・子育て世代の減少により出生数が減少しています。子育て環境の充実により子育て支援を行い、子育て環境を要因に転出することがないようにし、子育て世代の定着を進めます。

④高齢者の元気づくりと住みよい環境づくり

寿都町は高い高齢化率であり、高齢者の転出も多くなっています。高齢者が可能な限り健康で生活でき、また生きがいも感じられる環境づくりを行うことで、高齢者も住みやすい、安心して住み続けられる町にしていきます。

2. 基本的な考え方

(1) 計画の位置づけ

寿都町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、寿都町人口ビジョンを踏まえ、寿都町の「まち・ひと・しごとの創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるものです。

(2) 計画期間

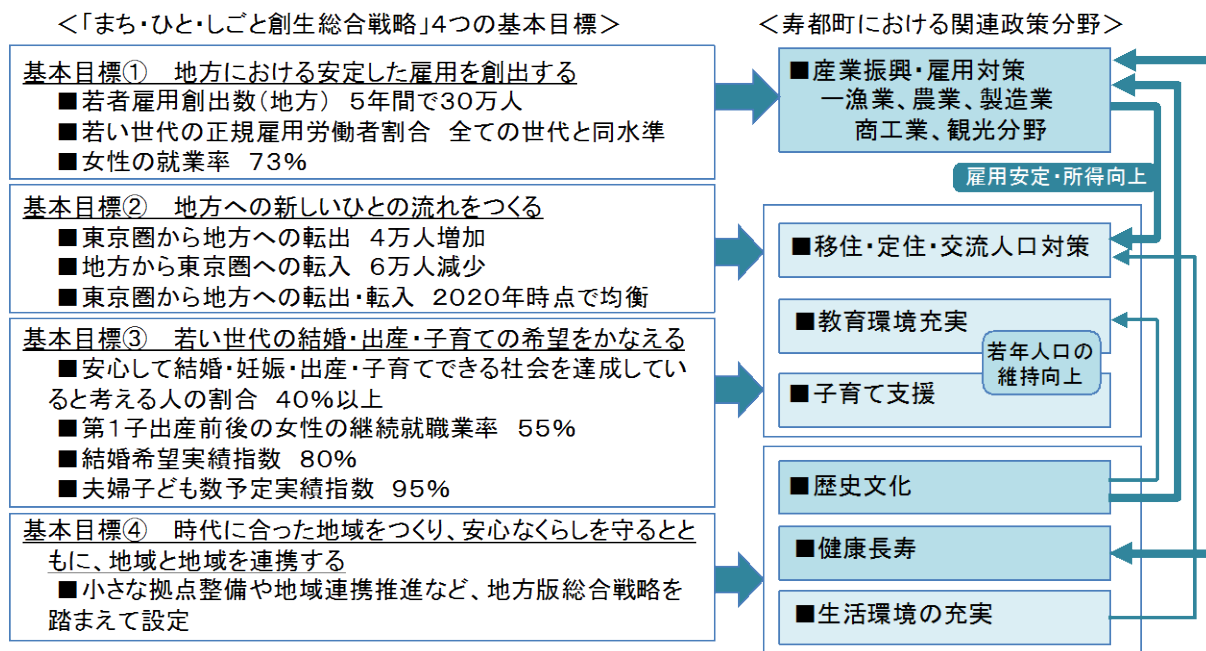
総合戦略の計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

(3) 目標設定と進捗管理

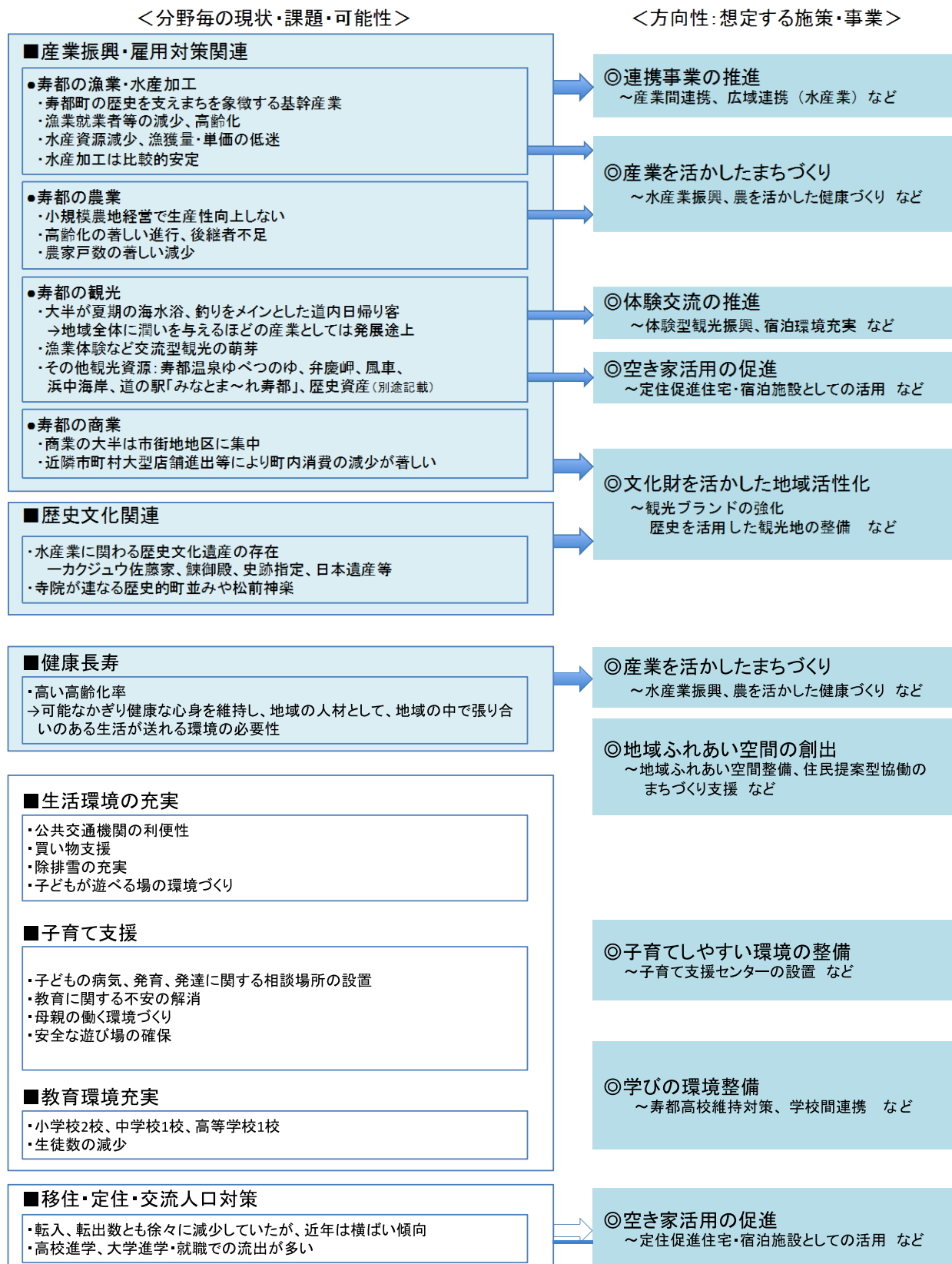
- 総合戦略では、本町における人口の現状分析、人口の将来展望を示す「寿都町人口ビジョン」を踏まえ、「基本目標」を設定するとともに「目標数値」を設定します。
- 具体的な施策の効果を客観的に検証できる指標「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。
- 総合戦略の進捗管理にあたっては、毎年度、重要業績評価指標（KPI）によりそれぞれの施策の効果を検証するとともに、改善・推進していく仕組み（PDCA サイクル）を確立します。

(4) まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、地方における様々な政策による効果を集約し、人口減少に歯止めをかけ、東京への一極集中を是正するため、4つの目標を設定しています。本町においても、これらを勘案しながら基本目標を設定し、各種施策を展開していきます。



(5) 関連政策分野における現状・課題・可能性と方向性



3. 基本目標と基本的な方向性

(1) 基本目標

総合戦略では、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標を勘案しつつ、基本的視点に基づき、人口ビジョンで示す将来展望を実現するために、本町の実情に応じた以下の4つの基本目標を設定します。

基本目標1：寿都町の強みである歴史文化資産と海・食・1次産業を活かした雇用創出と産業振興（しごとづくり）

基本目標2：歴史・食・自然・産業の連携による多様な交流と文化の醸成（人のながれづくり）

基本目標3：しごとづくりと連携した若者の定住促進と地域力を活かした子育てしやすいまちづくりの推進（出産・子育て）

基本目標4：高齢者の元気づくりと誰もが住みよい環境づくりの推進（人・地域づくり）

(2) 基本的な方向性

■基本目標1

寿都町の強みである歴史文化資産と海・食・1次産業を活かした雇用創出と産業振興（しごとづくり）

<基本的な方向性>

寿都町に人の流れを生み、将来的な定住に結びつけるためにも、新たな雇用創出、雇用の安定、所得の向上を第一に推進していくことが必要です。そのために、寿都町の最大の地域資源である歴史や食、海などの自然環境を連携させた観光振興と、寿都の歴史を支えてきた基幹産業である漁業・水産加工業等1次産業の振興を図り、新たな「しごと」の創造と、基幹産業の底上げを行います。

数値目標	目標値
新規雇用者数（域外）	16人
新規雇用者数（域内）	30人

<関連する具体施策>

- 施策① 産業を活かしたまちづくり
- 施策② 文化財を活かした地域活性化 ～観光ブランドの強化
- 施策③ 連携事業の推進
- 施策④ 空き家活用の促進
- 施策⑤ 地域ふれあい空間の創出

■基本目標 2

歴史・食・自然・産業の連携による多様な交流と文化の醸成（人のながれづくり）

<基本的な方向性>

活力あるまちづくりに向けて、歴史、食、海などの自然環境、産業を連携させた観光振興などの取組により、国内外からの人を呼び込みます。そうすることで、消費の拡大や、新たな仕事の創出とともに、多様な交流と寿都町独自の文化を創造し、地域への愛着心醸成や、将来的な子育て世代などの移住・定住者増加につなげます。

数値目標	目標値
交流人口の増	19,500 人
転入・移住者数	10 人

<関連する具体施策>

- 施策① 産業を活かしたまちづくり
- 施策② 文化財を活かした地域活性化 ～観光ブランドの強化
- 施策③ 連携事業の推進
- 施策④ 空き家活用の促進
- 施策⑤ 地域ふれあい空間の創出
- 施策⑥ 体験交流の推進

■基本目標 3

しごとづくりと連携した若者の定住促進と地域力を活かした子育てしやすいまちづくりの推進（出産・子育て）

<基本的な方向性>

しごとづくり、人のながれづくりを柱としたまちづくりを進めるなかで、子育て世代の若者の定住につなげるとともに、子育て支援の拠点づくりやボランティア協議会などの地域の人材を活かした子育て支援サービスの充実、学びの環境整備を行うことで、子どもを生み育てやすいまちづくりを推進します。

数値目標	目標値
合計特殊出生率 (出生数の維持)	1 年間の出生数 20 人を 維持

<関連する具体施策>

- 施策⑤ 地域ふれあい空間の創出
- 施策⑦ 子育てしやすい環境の整備
- 施策⑧ 学びの環境整備

■基本目標 4

高齢者の元気づくりと誰もが住みよい環境づくりの推進（人・地域づくり）

<基本的な方向性>

高齢化率の高い（36.8％）寿都町においては、高齢者が可能なかぎり健康な心身を維持し、地域の人材として地域の中で張り合いのある生活を送ることができ、安心して住み続けられる環境づくりを推進します。そのために、地域の遊休農地を活用した働く場づくりなど、健康づくりや社会参加の機会創出を行ないます。また、住環境整備に対する支援や、町民主導のまちづくり活動を支援しながら誰もが住みよいまちづくりを推進します。

数値目標	目標値
総人口	※3,443 人（H22） 2,923 人（H32）
社会増減数	※-118 人（H17～22） -15 人（H27～32）
就労・活動する高齢者	年間 10 名

<関連する具体施策>

- 施策① 産業を活かしたまちづくり
- 施策④ 空き家活用の促進
- 施策⑤ 地域ふれあい空間の創出

4. 具体的な施策と重要業績評価指標

■施策① 産業を活かしたまちづくり

1 次産業従事者の所得や就業環境の向上、新規採用枠の拡大、従業者及び交流人口の増など、地域の産業を活かしたまちづくりを推進するための取組を行う。

水産業では、身入りの悪いウニの籠飼育による給餌管理をはじめ、道南コンブ養殖地帯において発生するガニアシを加工しウニ・アワビへの飼料としての投入事業、魚の鮮度保持のための直販施設へのシルクアイス用製造機の導入、寿ガキなど新たな産地ブランドの推進等を実施する。また、担い手不足や労働力不足を解消するため漁業就業者としての人材を育成する体制の構築や、水産業の技術の研究、情報交換を行い、その技術やノウハウを地元伝えることができるような日本海対策のネットワークを構築する。

農業では、遊休施設を活用した小規模農業の取組を行い、高齢者が活動できる場を創出する。

また、ふるさと納税により地域経済の活性化や町のイメージアップを図るほか、地元企業の雇用環境の充実支援や、奨学金制度の対象職種の拡大による地元採用支援などにより地元採用の増加を図る。

【主な事業】

- ウニ増養殖事業
- コンブ（ガニアシ）高度利用事業
- 水産物高鮮度保持対策事業
- 産地ブランド推進事業
- 6次産業化の推進
- 漁業就業者定着強化推進事業
- 水産物普及施設等運営事業
- コミュニティ活動・コミュニティビジネス推進事業（遊休施設の活用）
- ふるさと応援寄附金事業
- 地元企業自立支援事業
- 奨学金制度の対象職種の拡大

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
新規雇用者数	5年間で21名 (うち域内11名、域外10名)
漁業者の所得向上	年2%の増
水産加工業者の売上増	5年で1,000万円の増
交流人口の増	5年で5,000名の増
就労・活動する高齢者数	年間10名

■施策② 文化財を活かした地域活性化 ～観光ブランドの強化

文化財を活かした地域活性化事業を推進するために、歴史文化基本構想等による、有戸地区整備など、歴史的資源の保存活用を図るとともに、語り部養成など歴史紹介のアナウンスビジネスの推進や、外国人向け観光案内の充実、体験教室の開催、地域産業との連携により、観光地としての整備やブランドの強化を図る。

【主な事業】

- 歴史を活用した観光地の整備事業
- 歴史文化基本構想の策定
- 有戸地区整備

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
新規雇用者数の増	5年間で7名 （うち域内4名、域外3名）
交流人口の増	5年で5,000名

■施策③ 連携事業の推進

多様な連携の手法等を効果的に活用した地域づくりを推進するため、水産業における他市町村や都道府県間の広域連携や第1次産業に観光、教育、食などを組み合わせた産業間連携等の在り方を検討する。地方創生には地域資源の海、食、歴史などを最大限に活かしたまちづくりが重要であり、地域の特性や資源を活用した新しい地域産業の掘り起しを目指す。

また、新幹線開業を本町経済の活性化に結び付けるため、新たなビジネスの創出や特産品の開発、近隣市町村との連携などを検討し、道外からヒト・モノ・カネを呼び込む。

【主な事業】

- 産業間連携・広域連携による水産業・観光業の在り方を検討
- 歴史を活用した観光地の整備事業（再掲）
- 6次産業化の推進（再掲）

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
新規雇用者数の増	5年間で5名（うち域内5名）
移住・定住者の増	5年で5名
交流人口の増	年間500名

■施策④ 空き家活用の促進

子育て世代の移住・定住促進や、漁業就業者の定着など、町が求める人材の確保につながるよう、民間事業者が空き家を購入しての活用（定住促進住宅等）及び宿泊施設（コテージ化）の整備を行う際の支援を行う。定住促進住宅とすることで新規従業員の住宅環境が整備され、また、コテージとして活用することで宿泊施設不足の解消や交流人口の増加が図られるとともに、空き家・廃屋の増加を防ぐ。

【主な事業】

- 寿都町住宅リフォーム助成事業
- 寿都町住宅建築等促進事業
- 宿泊・定住体験施設整備事業

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
新規雇用者数の増	5年間で8名 (うち域内5名、域外3名)
移住者の増	5年で5名
交流人口の増	5年で500名
空き家活用による廃屋増加の防止	5年で10棟

■施策⑤ 地域ふれあい空間の創出

地域のふれあい空間として、女性・シニア層が趣味や特技を生かせる環境や場所づくりを検討する。

ボランティア協議会での生活支援サービスの提供や幼児の一時預かりなど、地域が求めるコミュニティビジネスを確立するコーディネーターとして、既存支援制度の活用や住民活動組織等を支援できる人材を発掘する。

【主な事業】

- 地域ふれあい空間整備事業
- 住民提案型協働のまちづくり支援事業
- まちの元気再生事業

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
新規雇用者数の増	5年間で5名 (うち域内5名)
交流人口の増	年間300名
就労・活動する高齢者数	年間10名

■施策⑥ 体験交流の推進

地域の観光資源を活かした旅行商品や様々な体験プログラムの創出、町の新たな観光インフラとしての可能性を有する神社仏閣の活用などにより交流人口の拡大を図りながら、宿泊環境の充実のため地区会館の改修や空き家住宅の活用を図るとともに、宿泊環境の基準整備に向けた検討を行う。

また、町の魅力を紹介できる地域プレーヤーの育成や、町公式ホームページで観光や産業等の旬な情報を町内外に発信するなど、観光客の増加や町に関心を持ってもらえるような情報発信機能の向上を図る。

【主な事業】

- 体験交流推進事業
- 宿泊・定住体験施設整備事業（再掲）
- 歴史を活用した観光地の整備事業（再掲）
- 地域情報発信事業
- ホームページリニューアル事業

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
交流人口の増	5年間で5,000名
ホームページアクセス数の増	年間5,000件

■施策⑦ 子育てしやすい環境の整備

保育園併設の子育て広場に子育て支援の拠点を置き、随時育児に関する相談を受けるほか、乳幼児やその保護者の交流の場として教室を開催する。

また、子育てにかかる費用の助成を検討し親の経済的負担の軽減を図るとともに、町内在住の独身男女の交流の機会や、他市町村との交流の場を創出し、結婚につながるきっかけづくりを支援する。

【主な事業】

- 子育て支援センターの設置
- 子育て費用の助成

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
出生数の維持	5年後に1年間の出生数20人を維持

■施策⑧ 学びの環境整備

寿都高校存続に向けて現在行っている支援内容の拡充を含め、今後、寿都高校の独自性を打ち出していくことなども視野に入れながら、更なる取組みを検討する。

【主な事業】

- 寿都高校維持対策
- 学校間連携の推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	重要業績評価指標（KPI）
高校入学者数の維持	5年後に30人を維持